

社協だより

2020.7.21

92号

雫石町社会福祉協議会

～誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり～



離れていても
こころはいつも一緒!



もくじ

- ◆つながるBIGプロジェクト 2～3 P
- ◆令和元年度事業報告・収支決算 4～6 P
- ◆令和2年度社協会費報告・日赤活動資金運動報告 7 P
- ◆西山保育園だよりVOL29 8 P
- ◆小規模保育にじいろ保育園開所のお知らせ 9 P
- ◆まちの福祉 10～11 P
- ◆お知らせ 12 P

表紙写真：新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による代替事業としてスタートした「しずくいし『つながる』BIGプロジェクト」第1弾から第5弾の一枚です。社会的距離を意識しながらも、人と人との繋がりがますます大切な時代になってきました。

しずくいし 『つながる』 BIGプロジェクト

～コロナ禍に負けない
『地域力』がここにある～

これまで、雫石町社会福祉協議会（以下、「雫石町社協」）では、「人と人とのつながりを断ち切らない」「一人ぼっちを作らない」住民同士がお互いさまの機運を高めるための地域福祉活動への取り組みを実践してきました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、今、国内で積極的に呼びかけられているのは、今まで実践してきた地域福祉活動とは真逆の『ソーシャルディスタンス（社会的距離）』という言葉により、人と人が互いに距離を取り、接触する機会を減らすことが求められています。

人と人とのつながりにより、活動を生み出していく地域福祉活動は、活動への制限が生じ、今まで培って

きた住民力を発揮できない状況にあります。

そのような状況下、このコロナ禍において、雫石町社協に様々な相談が住民から寄せられました。

相談内容は、多岐にわたっており、「マスク不足」「ふれあいサロン開催の在り方」「多人数を集めての事業の開催」「観光業の休業による販路のない在庫商品について」「店舗休業に伴う町内農産物の売り上げ減少」「学生の地域活動」など、幅広い世代から多様な相談が寄せられました。

そこで、私たち雫石町社協は、雫石町役場地域づくり推進課地域コーディネーターと共に、この住民課題を解決するべく、様々な団体やグループ・学校・異業種等の協力や特性を掛け合わせていくことにより、できないと「あきらめる理由」を考えるのではなく、課題の背景を知り、より即応性があり、有効的な課題解決が出来るのかを考え、今回「しずくいし『つながる』BIGプロジェクト」の企画実施に至りました。

そこで、今回は、第1弾から第5弾までのプロジェクトを紹介します。

第1弾

マスクリレープロジェクト

福祉×観光×地域づくり

今回の第5弾までのプロジェクトのすべの始まりは、雫石町社協に寄せられた二つの相談でした。一つ目は、「どこのお店に行ってもマスクが買えない...」窓口に来た人の切実な声でした。

二つ目は、「ふれあいサロンや地域の集まりが中止となり、孤立する住民が増えて心配。」という地域住民からの多くの声でした。

この課題解決に向けて当初、企画したのは「手作りマスク」を地域住民が三密を避けつつ「分業による体感」を感じながら活動するというものでしたが、そこに地域コーディネーターから「町内の温泉旅館やホテルで使わなくなった浴衣を活用してはどうか？」という提案があり、浴衣地でコースター作りに取り組み始めた観光企画会社「いわてラ



↑町内の宿泊業から提供された浴衣



↑相談に行ったその日に試作品製作が始まりました



↑赤十字奉仕団員の皆さんも強力な助っ人として参加！

ボ」に協力依頼をし、本格的に始動しました。

プロジェクトを始めるに当たり、まずは「大村ふれあいサロン」のスタッフに浴衣地どのようなマスクができるのかを試作品を兼ねて相談し、浴衣地マスクの製作がスタートしました。この活動がメディアに取り上げられ、他のサロンスタッフや雫石町赤十字奉仕団員、地域住民の方々から「手伝いたい。」「自宅で取り組みたい。」との声がどんどん上がり、5月末には雫石町内の小学生に手作りマスクを贈呈することができました。

この第1弾をきっかけに、様々な人材や特性を掛け合わせていくことにより、即応性のある課題解決に向けたプロジェクトの可能性を実感しました。

第2弾

しずくいし見守りプロジェクト

福祉×地域づくり×観光・商工

休業等の対応を余儀なくされた町内の観光業、関連企業が抱えていた販路のない商品在庫を少しでも解消するため、ミニギフトを作り、「商店街配達サービス」のチラシをセットにして民生委員・児童委員が行っている一人暮らし高齢者の「見守り活動」に活用しました。

町内の観光・商工を支える皆さんにも協力して頂きました。



第4弾

しずくいし結っこ応援プロジェクト

福祉×教育×SJHVP×地域づくり

*SJHVPとは...雫石中学校ボランティアプロジェクトチームの略



ひとりで暮らす高齢者の不安やストレスを緩和するために、浴衣地マスクと一緒に雫石中学校生徒が相手を思いながら、絵手紙の製作に取り組みました。

絵手紙が届いた方からは感激の声が寄せられ、中には、中学生へ御礼の返信をして下さる方もおり、世代間の交流に繋がっています。

第3弾

町特産品通販&マスクリレープロジェクト

福祉×農業・観光業・商工業×地域づくり



不要不急の外出自粛により、町内でも各種イベントが中止となり、故郷雫石を懐かしんで頂き、終息後に雫石町へ訪れるきっかけになることを目的に、地域住民の方々が製作した「よしゃれ祭り」の手拭生地マスクと町内の農産物や特産物にメッセージカードを添えて配送するサービスを展開しました。

あなたとつながる
地域とつながる

第5弾

TSUNAGIマスクプロジェクト

福祉×雫石高等学校×教育×地域づくり

政府より布製マスクの世帯配布が始まり、使用しないという方がいらっしゃる背景から、寄付を募り必要とする方へ配布し有効活用するプロジェクトを始動したところ、雫石高等学校3学年生徒が「マスク回収ポスト」を製作、町内全小学校へ回収ポスト設置に向けた取り組みを展開しました。



組織体制の整備

- 理事会の開催 年5回
- 評議員会の開催 年2回
- 監査会の開催 年10回
- 役員研修会の開催
- 西山保育園の運営

地域活動事業

- お互いさま情報交換会への参加
- ・地域コミュニティ組織64地区
- 内社協選択講座・17回開催
- 社協だよりの発行 年3回
- 社協ホームページの運営
- 第43回町社会福祉大会の開催

参加者…約300名

新年交賀会の開催

参加者…102名

職場体験学習の受け入れ

- ・栗石中学校 生徒2名
- ・栗石高等学校 生徒2名



「お互いさま情報交換会(選択講座)」各地域コミュニティ組織の集まりに参加し、依頼があった際に、地域づくりや減災等に向けた各種選択講座を実施しました。

児童福祉事業



「栗石中学校職場体験学習」社協で行っている各種事業を体験し、福祉の仕事についての理解を深めました。

放課後児童クラブの運営

5クラブ延べ51,625名利用

・平日3日以上の学校休校日の合同保育の実施

GW合同保育 延べ104名

お盆合同保育 延べ88名

年末合同保育 延べ13名

子育て支援事業の実施

・ボランティアによる託児 延べ162名

・一人親家庭子育て応援事業 延べ80名

・ちびっ子ルーム

「ぽけっと」の開放 延べ86名

在宅福祉事業

- 在宅食サービス事業の実施 延べ7,054食
- おでかけ援助サービス事業の実施 延べ264件
- 在宅介護リフレッシュ事業の実施 年2回参加者延べ25名



「在宅食サービス事業」サービス対象者に対してバランスの取れた食事を提供し、見守り活動を行いました。

生活支援体制整備事業

- 生活支援コーディネーターの設置
- 地域活動への参加・実態把握
- 各種会議での情報共有・連携
- 相談コーディネート業務
- 暮らしに役立つ便利帳の作成検討

高齢者・障がい者福祉事業

- 一人暮らし老人居食会の開催 年4回参加者延べ150名

相談支援事業

- 介護相談
- 子育て相談
- ボランティア相談
- 第21回めぐりあい事業 計28名
- ・カップル成立数 5組
- ・内男性町内在住 3名
- ・男性町内勤務 1名
- 弁護士による特別相談所の開設 年12回
- 生活支援ワーカーによる障がい者相談所の開設 年12回
- よろず相談所の開設 年12回
- 生活困窮者自立支援事業の実施 相談件数延べ110件
- 家電バンクの実施 寄付者11件
- 福祉の合同職場説明会の実施 年2回
- 助け合い金庫の貸付 計31件
- 生活福祉資金の相談件数 計65件
- 金銭管理・財産保全
- サービス事業の実施 計152件
- 日常生活自立支援事業の実施 計780件

介護保険事業

- 居宅介護支援事業 (ケアマネ)の実施 延べ430件
- ・訪問調査 延べ14件

ボランティア活動センター事業

- ふれあいサロンの普及拡大 現在35サロン設置
- ・未設置地区への訪問 1地区
- ふれあいサロンスタッフ研修会 年1回参加者延べ45名
- ボランティア情報紙「ぼらっと」の発行 年6回
- 雪んこ見守り隊事業の実施 訪問世帯延べ512世帯
- ボランティア延べ418名
- スノーバスターズ事業の実施 依頼件数 9件
- ボランティアフェスティバル2019 参加者約300名
- 福祉教育出前講座の実施 43件
- ・体験学習 11件
- ・レクリエーション



「雪んこ見守り隊事業」ボランティアの協力を得て、町内各対象世帯の見守りと除雪活動を実施しました。

共同募金事業

- 共同募金運動の実施
- ・赤い羽根共同募金運動実績 2,447,687円
- ・歳末助け合い募金運動実績 3,670,710円



「赤い羽根共同募金運動(学校募金)」町内企業・各世帯をはじめ子ども達からも赤い羽根共同募金運動に参加いただき、募金の協力をいただきました。

災害支援の実施

- 台風19号災害に伴う災害ボランティアセンター支援活動の実施
- ・岩手県普代村への職員派遣
- ・ボランティアバスの運行 22名
- ・ボランティア参加者



「復興ボランティア活動」台風19号災害に伴い、普代村への復興ボランティアバスを運行し、現地での支援活動を行いました。

各種福祉団体事務支援事業

- 団体事務支援
- ・老人クラブ事業 38クラブ 会員1,155人
- ・日本赤十字社 日赤活動資金運動実績 2,496,300円
- ・民生委員・児童委員協議会 身体障がい者福祉協会



「民生委員児童委員活動(夕食サービス)」11月に女性民生委員が集まり、町内一人暮らし高齢者世帯を対象に夕食弁当を作成し、各地区民生委員を通じて配達を行いました。



「老人クラブ事業(放課後児童見守り活動)」児童が安全に下校できるよう、各小学校区での地域で見守り活動を実施しました。



「ふれあいサロン事業」御明神地区のサロンが一斉に集まり、互いに交流をしながら小学校での草取りを行いました。



「福祉教育出前講座(シニア体験)」様々な道具を活用して、身近なシニア時代の気持ちになって体験を行いました。



「福祉教育出前講座(レクリエーション)」ふれあいサロンや老人クラブ等地域の集まりに参加し、社協独自のレクリエーションや講座を実施しました。

令和2年度社会福祉協議会会費結果 報告

令和2年度社協会費の主な利用用途

事業名
子育て支援事業
おでかけ援助サービス事業
合同金婚式
第44回雫石町社会福祉大会
新年交賀会
一人暮らし高齢者交流会（鶴の会）
よろず相談事業
広報活動事業
援護活動事業

皆様のご協力ありがとうございます。

総額 3,656,000円

(令和2年6月30日現在)

74行政区 ・ 4,574世帯

令和2年4月から行政区長さんを通じて、各世帯に「雫石町社会福祉協議会費」（以下、社協会費）のお願いをしていただいた結果、総額3,656,000円の会費のご協力をいただきました。今年度、皆様よりお預かりした社協会費は、町の地域福祉の増進を目指した事業に活用させていただきます。なお、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮して、社会情勢に即応した事業を検討し、一部内容を変更して実施させていただきます。

引き続き、町民皆様より身近でわかりやすい事業として、地域福祉の増進・充実に取り組んでまいりたいと思っておりますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年度赤十字運動月間 実施結果 報告

令和2年度日赤雫石町分区分人活動資金協力事業所名 (単位：円)

法人名	金額
岩井建設(株) 様	10,000
(株)中村建設 様	10,000
(株)パーツ産業 様	10,000
新岩手農業協同組合雫石中央支所 様	5,000
小岩井農牧(株)小岩井農場 様	5,000
(株)菊池工業 様	5,000
計	45,000

総額 2,341,600円

(令和2年6月30日現在)

一般 2,296,600円 (74行政区・4,585世帯)

法人 45,000円 (6企業)



雫石中学校家庭部の皆さんと赤十字奉仕団で町内高齢者施設に向けてビニールガウンを延べ約1,350着製作しました!!

今年度も5月を「赤十字運動月間」として、町内の皆さまに活動資金募集のご協力をお願いした結果、上記金額をお寄せいただきました。

お寄せいただいた活動資金は、全額日本赤十字社岩手県支部へ送金致します。ご協力ありがとうございます。

日本赤十字社は、世界各地での救援活動はもとより、国内での災害救援、血液事業、社会福祉事業などの活動を展開しています。今般の新型コロナウイルス感染症に対する活動としては、治療にあたっての医療従事者への支援やクルーズ船への救護班の派遣等をおこなっています。

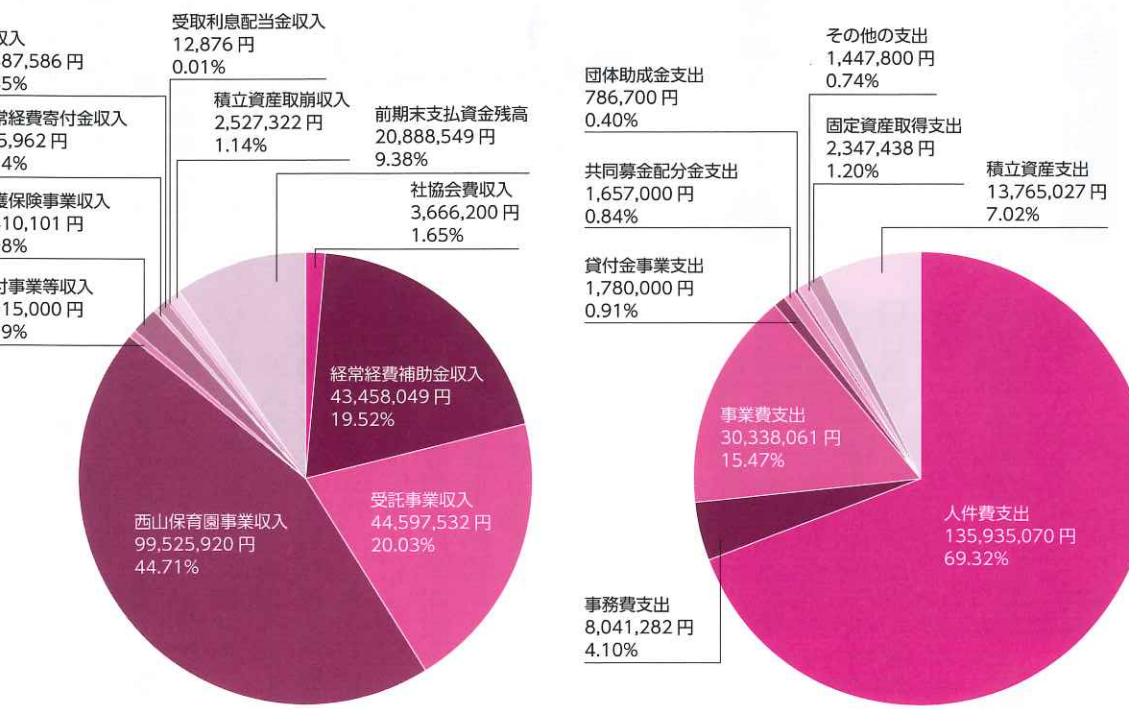
また、身近なところでは、町内で火災や水害等が発生した際、毛布や日用品セット等の救援物資を被災世帯に配布しています。

今後とも、赤十字活動について、町民の皆様のご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

決算報告 資金収支計算書(法人総合) 平成31年4月1日～令和2年3月31日

※本法人で運営しております西山保育園の会計も本決算に含まれておりますので、ご理解下さいますようお願い致します。

収入 222,605,097円 支出 196,098,378円



貸借対照表総括表 令和2年3月31日現在 (単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	35,610,959	流動負債	9,104,240
現金預金	28,487,365	事業未払金	7,855,805
事業未収金	4,471,174	職員預り金	1,248,435
未収金	7,800		
未収補助金	2,454,120	固定負債	26,940,616
前払費用	190,500	退職給付引当金	26,940,616
固定資産	259,521,801	負債の部合計	36,044,856
基本財産	87,249,678	純資産の部	
定期預金	100,000	基本金	100,000
建物	87,149,678	国庫補助金等特別積立金	30,927,137
その他の固定資産	172,272,123	その他の積立金	137,261,338
構築物	792,789	福祉基金積立金	24,219,176
車両運搬具	1,683,501	車両整備等積立金	4,042,162
器具及び備品	4,129,879	人件費積立金	12,500,000
長期貸付金	1,464,000	保育所施設・設備整備積立金	96,500,000
退職給付引当資産	26,940,616	次期繰越活動増減差額	90,799,429
福祉基金積立資産	24,219,176	(当期繰越活動増減差額)	14,565,424
車両整備等積立資産	4,042,162	(前期繰越活動増減差額)	85,648,343
保育所繰越積立資産	12,500,000	純資産の部合計	259,087,904
保育所施設・設備整備積立資産	96,500,000	負債及び純資産合計	295,132,760
資産の部合計	295,132,760		

小規模保育 にじいろ保育園 開園しました!



6月1日より栗石町で初めてとなる「小規模保育 にじいろ保育園」が開園しました。栗石町社会福祉協議会が御明神診療所の一角を栗石町から借り受け、小規模保育所用に改修して開設しました。小さな園庭や保育園の北側の窓からは田沢湖線や秋田新幹線の車両が走る様子を間近で見ることができます。

小規模保育ならではの少人数で家庭のように安心して過ごせる場所で、子どもたちの成長と発達を見守っていききたいと思います。見学は随時できますので、いつでもいらしてください。お待ちしております♪

- 入園申し込み：栗石町役場健康子育て課子ども子育て支援室 ☎ 019-601-5428
- 見学のお問い合わせ：小規模保育 にじいろ保育園 ☎ 019-681-8282

《にじいろ保育園 保育目標》

キャッチフレーズ

～明るく! 楽しく! 元気よく!～

1 いっぱいあそぶ 2 よくたべる 3 よくねむる



- 入園対象／ 0歳児から2歳児（3歳になった年の3月31日まで）
- 定 員／ 10名
- 保育時間／ 7時15分～18時15分
- 休 園 日／ 日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）



笑顔いっぱい 元気いっぱい

西山保育園だより vol.29

西山っ子



西山保育園では、カワイ体育教室を行っています。4、5歳児が各年齢の発達にそった様々な運動をしています。今回は鉄棒と登り棒にチャレンジしました。鉄棒ではジャンプして伸ばした腕で体を支え、ツバメのポーズを取ります。コツを教えて頂き、前回りができるようになりました。登り棒では足の裏で棒をしっかりと挟んで、両手両足を使い体を支えます。何度も練習し登れるようになりました。

友だちと一緒に体を動かす楽しさを感じ、できなかったことができるようになり、自信がつき嬉しそうな子どもたちです。これからも、心も体も健やかに成長していけるような、活動に取り組んでいきます。



ツバメのポーズに挑戦!



てっぺんまできたよ～♪



まちの福祉

「福祉に関する情報コーナー」

アイコンについての説明はこちらをごらんください

令和二年度雫石町合同金婚式開催！

「二人で培ってきた五十年間を私たちがお祝いします」
社会福祉協議会では、長年雫石町の地域発展に尽力されたご夫婦を祝して、隔年で合同金婚式を開催しています。お二人で共に歩まれてきた五十年間を振り返りながら、一緒に楽しい時間を過ごしませんか。

●開催日時
令和2年11月22日(日)
午前11時～午後2時予定

●開催場所
雫石町鶯宿 ホテル森の風

●会費
一組 1万円(御一人 5千円)

●対象夫婦
雫石町に住所を有し、かつ居住し、令和2年12月31日までに婚姻期間が50年以上を迎えるご夫婦。

【先着15組】
(昭和45年12月31日までに婚姻され、これまでに参加されたことのないご夫婦)

●申込方法
『合同金婚式参加申込書』と新婚当時の写真を添えて、令和2年10月30日(金)までに、社会福祉協議会へお申し込み下さい。

※『申込書』が必要な方、詳細を知りたい方は、雫石町社会福祉協議会までお問い合わせ下さい。



昔を思いだす花嫁道中の様子

●問合せ先
雫石町社会福祉協議会
担当…渡邊・外村
(電話…692-2230)

この度、町社会福祉協議会では、理事の退任に伴い、評議員会において新たに次の方が理事として選任されました。



千葉 昇 氏
(晴山)

令和二年度雫石町合同金婚式開催！

老人クラブ 新役員

6月29日(月)町総合福祉センターにて「令和二年度雫石町老人クラブ連合会臨時総会」が開催され、安達松治氏が新会長に選任されました。また、役員も改選されましたので、あわせてご紹介致します。



町老人クラブ連合会
新会長
安達 松治 氏



町老連新副会長兼
西山地区老連会長
土樋 丕彦 氏
町老連新副会長兼
御所地区老連会長
高橋 秋夫 氏
町老連新副会長兼
雫石地区老連会長
築場 元介 氏

令和2年6月23日付で町社会福祉協議会の理事に就任いたしました千葉昇氏です。
就任に際しまして、その職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。
近年、少子高齢化が進展する中、家族機能の低下や地域社会を取り巻く環境も大きく変化しています。
私は、教育委員会としての立場から、子どもからお年寄りまで世代を超えて、誰もが安心して暮らせるまちづくりに向けて微力ではありますが、誠心誠意努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

知 コロナ特例貸付について

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、生活資金でお悩みの方を対象に緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、少額の費用の貸付を行っています。

- 貸付上限額
・20万円以内
- 貸付利子・保証人
・無利子・不要
- 必要書類
・身分証明書2種類
・通帳とその通帳の通帳印
・収入減少がわかる書類

6月末までのコロナ特例貸付件数		
	相談件数	貸付件数
3月	3	0
4月	45	17
5月	24	10
6月	10	5

●その他
担当者不在時があるため、事前に電話予約をお願いします。
電話 692-2230
(平日8時30分～17時15分 ※土日祝休)

知 フードドライブ 協力をお願い

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少し、食料支援を必要としている世帯が増加しています。食料支援回収(フードドライブ)を実施しますので、皆様のご協力をお願いいたします。

◆回収期間
令和2年7月20日(月) から
令和2年8月31日(月) まで



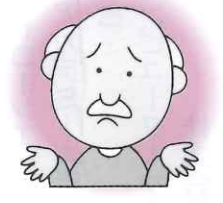
この旗とBoxが目印です

◆回収場所
町総合福祉センター(役場隣)
町役場総合福祉課(役場1F)
町健康子育て課(健康センター)
提供していただきたい食料品
賞味期限が3ヶ月以上のもので、常温保存可能な未開封食料品

福祉サービスいろいろ情報 日常生活自立支援事業

(愛称：あんしんねっと)ってな～に？

毎日の暮らしの中には、いろいろな不安や疑問、判断に迷ってしまうことがたくさんあります。日常生活自立支援事業は、このような場合に、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理のお手伝いをし、地域で安心して日常生活が送れるようにサポートします。



こんなことでお困りではありませんか？

- ① 日常的な金銭の管理に不安がある。
- ② 手続きに不安がある。
- ③ 物忘れが多くなり、大切な物をどこへ置いたか忘れる。

どんなサービスがあるの？

- 日常的な金銭管理サービス
- 福祉サービスについての情報提供
- 福祉サービスの利用申込み援助
- 書類などの預かりサービス
- 福祉サービスの利用料などの支払い手続き
- 苦情解決制度の利用援助サービス

サービスについて、詳しく知りたい方は、サービスをご利用したい方は、お近くの社会福祉協議会まで、お気軽にお問い合わせ下さい。
☆照会先：雫石町社会福祉協議会 (TEL:692-2230)

生活支援員の紹介

日常生活自立支援事業(あんしんネット)で活動している「生活支援員」が定期的にご利用者宅を訪問し、支援を行います。
現在、3人の「生活支援員」が支援活動を行っています。



深谷 詩子 生活支援員
峰川 英利 生活支援員
松木 里子 生活支援員

クラブ男厨会



おすすめレシピ紹介

「クラブ男厨会」とは、『男子、厨房に入る会』の略称で、自分達で作ったお弁当を一人暮らし高齢者へ提供する昼食会へ協力いただくなど、地域貢献活動に取り組んでいるボランティア団体です。

vol.6

暑い夏もモリモリ食べよう



焼きサバの南蛮漬け



【材料】(4人分)

- ・塩サバ …… 2枚
- ・人参 …… 2/3本
- ・玉ねぎ …… 1個
- ・塩 …… 少々

(調味料A)

- ・赤唐辛子 …… 1本
- ・酢 …… 2/3カップ
- ・水 …… 大さじ2
- ・砂糖 …… 大さじ1
- ・醤油 …… 小さじ1



【作り方】

- ①塩サバを食べやすい大きさに切る。
- ②人参を千切りにし、塩少々をふってもむ。
- ③玉ねぎを薄切りにし、塩少々を振って少し置き、水にさらして辛味や臭みを抜いたのち、水気を絞る。
- ④バットに調味料Aを合わせ、人参、玉ねぎを漬ける。
- ⑤フライパンに油小さじ2(分量外)熱し、サバの両面を焼き、④のバットに漬けて味を染み込ませる。

できあがり♪

やさしいまごころを
ありがとうございます

(令和2年4月から令和2年7月までの間に、寄せられた寄付についてお知らせいたします。)

寄付金

○土橋 幸男 様

100,000円

○柿木 和磨 様

(町の福祉のために)
100,000円

○匿名希望

(町の福祉のために)
100,000円

○匿名希望

(町の福祉のために)
10,679円

物品寄付

○お米

・上澤田 作実 様

○紙オムツ等

・米倉 輝男 様
・中村 敬子 様

○ウィルスシャットアウト

・JUA VACドローンエキスパート
アカデミー岩手校 様

○車イス 3台

・北日本コンピュータサービス
株式会社 様

社協行事予定

7月

29日(水) 心配ごと相談会

8月

26日(水) 心配ごと相談会

9月

9日(水) 一人暮らし高齢者昼食会

16日(水) 在宅介護者の集い

30日(水) 心配ごと相談会

10月

28日(水) 心配ごと相談会

11月

22日(日) 栗石町合同金婚式

25日(水) 心配ごと相談会

*事情により、変更になることもあります。予めご了承ください。

社協新入職員紹介

令和2年に採用された職員を紹介します。
みなさんよろしくお願ひします。



町社会福祉協議会
有期契約職員
沼田 夏央里さん